

JCHO 福井勝山総合病院 地域協議会 第 21 回 議事録

開催日 令和 7 年 12 月 16 日 (火) 13:00~14:00

開催場所 病院 2 階講堂

出席者 松岡委員、宇都宮委員、加藤委員、小林委員、高井委員、田上委員、安川委員、須藤委員

院長挨拶の後、次の議題について協議した。

1. 患者相談窓口の充実について

令和 7 年 10 月より体制を充実させた患者相談窓口について説明を行う。

外部委員：患者相談窓口は一日にどのくらい利用されているのでしょうか。また医療安全に関する相談もあるのでしょうか。

当院委員：日によって異なりますが、多いと 4、5 件の相談があります。医療安全の担当者が苦情相談窓口も行っていることから資料中に医療安全と記載をさせていただきました。専従職員だけでは対応出来ない内容については専門部署につないで対応しております。

外部委員：以前との一番の違いはどのような点でしょうか。

当院委員：令和 7 年 10 月から専従職員を配置し、平日 8 時 30 分から 17 時 15 分まで必ず担当者が常駐する体制を整えた点が大きな変更点です。

外部委員：行政や法令関係の相談については社会福祉士の方が対応されるのですか。

当院委員：介護保険関係については社会福祉士が対応しております。また、込み入った内容については行政と連携して対応しております。

2. 令和 7 年度中部ブロック DMAT 実働訓練

令和 7 年 11 月 15 日に実施された中部ブロック DMAT 実働訓練について当院で行った訓練の内容について説明を行う。

外部委員：トリアージの赤・黄・緑・黒の基準について教えてください。

当院委員：赤は最優先で処置が必要な重症患者、黄色は赤に次いで処置を要する中等症患者、緑は軽症患者、黒は救命困難と判断される患者を指します。

外部委員：大規模災害で病院自体が被災した場合の透析患者への対応はどうなりますか。

当院委員：大規模災害であれば県の方で対応が想定されていると思われますが、当院としては主要な大学病院等の医療機関と連携し対応を行うことが考えられます。

外部委員：今回のDMAT訓練と並行して保健所の方でも訓練を行い、様々な想定の中で透析患者の透析をどうするかについても課題になりました。透析病院が被災したような場合ではDMATや県の本部の方でも対応する体制になっております。

外部委員：地域への訓練の周知は行われていたのでしょうか。地域として出来ることがあればお手伝いできればと存じます。

当院委員：ニュースや新聞等での本訓練についての記事が出ておりました。住民の方も参加される訓練も必要と考えられます。今回はDMATを中心の訓練となっておりました。

外部委員：奥越地域の医療機関との連携訓練も今後は考えられていますか。

当院委員：今回はDMATを保有している病院が中心でしたが、今後、地域医療機関との連携訓練についても検討してまいります。

3. 寄附のオンライン受入サイトについて

当機構にて新たに新設された寄附受入サイトについて説明を行う。

外部委員：寄附サイトへはQRコードなどで簡単にアクセスできたりするのでしょうか。

当院委員：現在はホームページ経由ですが、今後はQRコードの活用も検討してまいります。

4. マイナンバーカード（マイナ保険証）について

マイナンバーカードを保険証として利用するマイナ保険証の当院での利用方法や利用率について説明を行う。

外部委員：スマートフォンでのマイナ保険証の利用はどの程度ありますか。

当院委員：9月中旬から導入し、今まで10名程度の利用がありました。マイナンバーカードを持参しなくてもマイナ保険証を利用できるのがメリットでありますので当院でも広報を行い若い世代を中心に今後の利用拡大を見込んでいます。

外部委員：通信障害が起きた場合の対応はどうなりますか。

当院委員：当院でもまれに通信障害が起きて一時的に利用できないこともあります、担当者が復旧対応を行い多くの場合は速やかに解消しております。通信障害時には資格確認証など既存手段と併用して対応しています。

外部委員：本人の顔認証や暗証番号認証が難しいケースへの対応はありますか。

当院委員：目視確認モードを活用し、職員が患者さんの代わりに本人確認を行うことで暫定的に対応できる仕組みがあります。救急車での来院時などで使用しております。

5. 健康サロン・出張出前講座の開催

健康サロン・出張出前講座の活動実績及び予定について説明を行う。

外部委員：出前講座をお願いする場合、どれくらい前に申し込めばよいでしょうか。

当院委員：当院のホームページにも掲載されていますが、原則として2か月前までにご相談いただければ調整可能です。

外部委員：老々介護や高齢者と障がい者など複合的な課題を抱える家庭への支援はどうされていますか。

外部委員：高齢者で認定を受けているような方であればケアマネージャーと地域包括支援センターが協力して対応をしております。また、一般的な家庭に向けた家族介護者の教室も行っております。

外部委員：複数の問題を抱えている場合には一つの部署で受けるのではなく関係する部署全体で支援していく体制づくりを進めています。

6. 当老健施設の地域参加

当院の附属介護老人保健施設の地域貢献活動について説明を行う。

外部委員：市の事業への参加についてお礼を申し上げます。買い物支援事業については送迎のご協力をいただいており、参加者の方も増え主催の社協の方や地域の方々に喜ばれています。認知症フェアでは会場の雰囲気を盛り上げていただきました。認知症カフェは毎月サンプラザで開催されており認知症予防を地域の中で普及させる目的の中で継続的に参加いただけることは大変ありがとうございます。

外部委員：買い物支援事業は終了後の介護予防教室はどちらで開催されていますか。また、（認知症フェアの中で当院職員が行った）コグニサイズとはどのようなものになるのでしょうか。

当院委員：介護予防教室はサンプラザにて開催しております。コグニサイズとは認知症予防運動のことであり例えば体操やしりとりなどを行っております。

7. 意見交換

外部委員：スマートフォンにてマイナ保険証を利用された方は同時にマイナンバーカードも持ってこられていましたか。

当院委員：マイナンバーカードはお持ちになられてましたがスマートフォンが利用できるならそちらを使用してみたいとの興味関心からそちらを使用されておりました。